

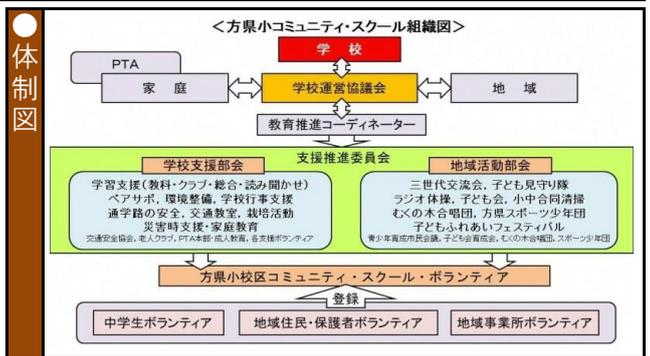
こんな活動です

# 方県っ子を方県みんなで育てます ～自然豊かな環境の中で質の高い教育を目指す～

岐阜県岐阜市	●活動名	●関係する学校名
	方県地域コミュニティ活動	岐阜市立方県小学校

協働活動開始年度	平成 24 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	6 学級	のべ児童・生徒数	87 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		地域人材育成			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		2人	
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携		有	
参考URL	http://cms.gifu-gif.ed.jp/katagata-e/						

●連絡先	岐阜市立方県小学校	☎ 058-238-8611
------	-----------	----------------



●活動の概要・経緯

- 平成24年度に学校運営協議会を設置し、岐阜市型コミュニティ・スクールの指定を受ける。「方県っ子を方県みんなで育てます」をテーマに、自然豊かな環境の中で、質の高い教育の方県、子育てにより環境の方県、文化の薫る方県、あいさつが響く方県をめざし、学校・家庭・地域が一体となって「子どもにとってよいこと」を第一に考えて活動している。
- コミュニティ・スクールの主な取り組みは、学校支援部会、地域支援部会の2部会からなる支援推進委員会が進める。学校支援部会は学校の学習環境の幅を広げるためのサポートや防犯・交通安全のための見守り活動を、地域支援部会は子どもの地域参画や個性伸長の機会の提供を行っている。また、地元企業・施設等との連携により、地域性のある様々な体験学習に取り組んでいる。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①学習ボランティアによる支援：伊自良川調べ、書写、茶の湯、俳句、ミシン、昔遊び、読み聞かせ等の支援を、年間のべ95回実施。
- ②保護者ボランティアによる学習支援「ベアサポ(ベアレント・サポート)」：算数等の補習支援を、隔週1回実施。
- ③諸団体による合同企画：支援推進委員会やその他の地域の諸団体による合同企画「方県子どもフェスティバル」を実施。
- ④地域ウォークラリー：自治会や寺社、地元企業の協力により縦割り班で地域を巡る「ウッキッキウォークラリー」を毎年5月に実施。
- ⑤「生活の作文コンクール」：家庭・地域生活での感動を綴る作文コンクールを実施し、入賞作品を冊子にして家庭・地域に配付。
- ⑥地元企業等との連携：サツマイモや大豆栽培、豆腐作り、花苗工場や鶏卵工場の見学、高齢者福祉施設との交流などを実施。

### 【実施に当たっての工夫】

コミュニティ・スクールの中核となる学校運営協議会は、連合自治会長が会長、公民館長と校長がそれぞれ副会長に就き、テーマ「方県っ子を方県みんなで育てます」に沿った協議を重ね、願いの共有や方針決定を行う。

支援推進委員会は、青少年育成市民会議会長が会長、老人クラブ会長が副会長に就き、諸団体間の連絡調整役を担う。また、学習ボランティア等の募集は、支援推進委員会が募集チラシを作成し、方県地域全戸に回覧するなどして募り、ボランティア代表であるコーディネーターと教頭・教務主任が連携して支援方法等の打ち合わせを行い、具体的な支援活動につないでいる。

## ● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

・支援推進委員会を通して、コミュニティ・スクール化以前は繋がりが薄くばらばらに活動していた諸団体(PTA、子ども会、スポーツ少年団、合唱団、青少年育成市民会議、老人クラブ、交通安全協会等)や学習ボランティアの間に交流が生まれ、子どもの健全育成という共通の願いのもと、育成者である大人同士の連携がすすんでいる。

・支援推進委員会に属さない諸団体(社会福祉事業団、消防団、水防団、体育振興会、赤十字等)や地元企業・施設(農協、鶏卵業、花苗業、高齢者福祉施設等)との連携も広がり、コミュニティ・スクールを核とした地域と学校のパートナーシップに広がりを感じられるようになってきた。

## ● その他

校区が広く、集落間が田畑で隔てられた地域であるため、これまで「子ども見守り隊」が組織されていなかった、平成30年度より、自治会の働きかけにより、「方県小校区子ども見守り隊」が立ち上げられ、約30人のボランティアが見守り活動に携わるようになった。



児童会行事「ウッキッキウォークラリー」で地域の寺院を訪ね、鐘つきをしていく様子



5年生総合で、魚類を調べ、学習している様子